

# 大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成 27 年 (2015)

皇紀 2675 年

平成 27 年 わかば祭り (春の大祭) 号【第 102 号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

## 主な目次

終戦 70 年 東京裁判史観払拭のとき……	2 頁
わかば祭り (春の大祭) のご案内……	3 頁
御鎮座 950 年奉祝 記念事業・ご奉賛……	5 頁
杜の話題……	6 頁
大宮八幡の杜 春から夏へ……	9 頁
初宮詣芳名・どんぐり通信 ……	10 頁
わかば祭り社頭風景 ……	12 頁



「わかば祭り (春の大祭) 稚児社参」



# わかば祭り(春の大祭)



今年も木々の緑が若葉青葉と芽吹く季節が巡って参りました。当宮では5月3日より5日までの間、わかば祭り(春の大祭)を斎行致します。まず、4月29日には、昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げ、午前10時より昭和祭が厳かに斎行されます。春の大祭期間中は、5日の当日祭(尚武祭)を中心に、3日には第一日ノ儀こどもの祭り(稚児健康祈願祭)、第37回稚児行列。4日には、第二日ノ儀に併せて挙式者の集い開催奉告祭、午後には植樹祭が行われます。大祭の奉祝行事としては、4月29日の弓道奉納射会を始めとして3日より5日までの表参道で大宮八幡植木市、盆栽即売会が行われます。ご社殿前では4日の第15回若葉inおみや(コンサート)を始め数々の神賑行事が奉納され、大勢の参拝の方々に終日ご社頭が賑わいます。16日には、第16回茶道裏千家献茶式が行われます。



今年も木々の緑が若葉青葉と芽吹く季節が巡って参りました。当宮では5月3日より5日までの間、わかば祭り(春の大祭)を斎行致します。まず、4月29日には、昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げ、午前10時より昭和祭が厳かに斎行されます。春の大祭期間中は、5日の当日祭(尚武祭)を中心に、3日には第一日ノ儀こどもの祭り(稚児健康祈願祭)、第37回稚児行列。4日には、第二日ノ儀に併せて挙式者の集い開催奉告祭、午後には植樹祭が行われます。大祭の奉祝行事としては、4月29日の弓道奉納射会を始めとして3日より5日までの表参道で大宮八幡植木市、盆栽即売会が行われます。ご社殿前では4日の第15回若葉inおみや(コンサート)を始め数々の神賑行事が奉納され、大勢の参拝の方々に終日ご社頭が賑わいます。16日には、第16回茶道裏千家献茶式が行われます。



<b>わかば祭り祭典と奉納神賑行事</b>	
<b>祭 事</b>	
昭和祭	4月29日
朔旦祭並びに蹴鞠育木祭	5月1日
わかば祭り第一日ノ儀	5月3日
こどもの祭り(稚児健康祈願祭)	5月3日
第37回稚児行列巡行	5月3日
わかば祭り第二日ノ儀	5月4日
植樹祭(苗木授与先着200名)	5月4日
わかば祭り当日祭(尚武祭)	5月5日
わかば祭り終了奉告祭(直会乃儀)	5月5日
第16回茶道裏千家献茶式	5月16日
<b>神賑行事</b>	
春の弓道奉納射会	4月29日
古武道武技奉納	5月3日
佼成学園吹奏楽部奉納演奏	5月3日
第15回若葉inおみや	5月4日
第15回奉式者の集い	5月4日
杉並太鼓奉納演奏	5月4日
野点茶会(裏千家)	5月5日
方南エイサー踊り奉納	5月5日
雅太鼓奉納演奏	5月5日
奉納献燈提灯	4月29日～5月17日
園児画展	4月29日～5月17日
みどりの会即売	4月29日～5月3日
スカウトバザー	5月3日
大宮八幡植木市	5月3日～5日
盆栽展示会・即売会	5月3日～5日
露 店	5月3日～5日

今年も彼岸に真白い辛夷(田打桜)の木の花が満開となり、隣の染井吉野が妍を競うように咲き始め春を告げています。やがて草木も芽吹き始め、萌え生ずる若葉の杜のわかば祭り(春の大祭)が巡って参ります。

ご皇室を中心とする我が国の隆昌と、世界の平和を祈念し、今年の五穀の豊穡を中心にあらゆる産業の発展とご家業のご繁栄とともに氏子・崇敬者のご家庭のご平安をお祈りさせて頂きます。

古来より春のお祭りは秋のお祭り、新嘗祭(にひなめまつり)と一对の祈年祭(としごひのまつり)と同じ祭りであり、年とは稲を表し、春に稲(奥津御年)を始め五穀の豊穡を神々にお祈りし、秋にはその収穫した物を神々に感謝するお祭りをして、その時の供え物を神々よりの賜りもの、食べものとして頂いてきました。

神々と同じものを頂き、神々より更なる生命力(恩頼)を頂いて来たという、言わば神人共食の信仰生活であります。ということ秋の大祭(大宮八幡祭り)や新嘗祭が盛大に斎行できますようにお祈りも致します。

御鎮座九百五十年式年記念事業の第一期事業の完結としての弓道場振武殿の増築改修工事については、当宮が特別緑地保全地区内にあり、それに伴う風致地区条例、みどりの条例、土地区画整理事業区域、景観計画区域等に指定されている為、増築に伴う建築確認申請をするための複雑な諸届けや申請が必要でありました。

その上過去数十年前より放置されたままになっておりました境内地の既存施設の法適合化業務も同時に進められました。境内に存在するすべての建築物を实地測量しての図面作成や役所の関係機関と許認可がスムーズに行われるよう、担当者のご指導のもと意志の疎通を図りながら、指定の専門業者の真

心からの努力によって、ようやく行政上の諸申請手続きを経て受け付けられました。延び延びになり時間がかりました。杉並区より確認申請の許可が下り次第着工の運びとなりました。

## 東・京裁判史観の拭きのとき

喜司

今年は終戦七十年の節目の年でもあります。若い尊い生命を国や家族の為捧げられた英霊等に依って、今の祖国日本がこのように発展して来ている事を再確認して、更なる不戦を誓い真心からの追悼の誠を捧げなくてはなりません。

そうしてこの節目こそ、日本国民として我が日本の国に誇りと自信を取り戻す絶好のタイミングであると思っております。

私共は敗戦により、反省すべきは反省し、謝罪して来た筈ですが、今尚中・韓両国より押し付けられているいわゆる「歴史認識」の考え方を一歩進めて、七十年より前の大東亜戦争開戦当時の真の近現代史に目を向けてみたいと思えます。

昭和十六年十二月八日の米国及び英国に対する宣戦の詔書、昭和天皇の開戦の「みことり」により「東亜の安定を確保し、以て世界の平和に寄与する為の自衛の戦いである」と戦争目的がはっきり述べられております。

当時東南アジアの有色民族の国々は、欧米白色民族により植民地化されている中であって、我が有色民族の日本だけが独立して西欧列強に仲間入りしておりました。そこに目を付けられたが如く、英米によって日本が戦争に追い込まれてしまったのであります。

いわゆる大東亜戦争として、欧米列強の植民地であった東南アジアの解放の為に戦いが始められました。

緒戦はよくも、四年間の間に矢弾尽き物

量作戦に破れ武運拙く、多くの戦没者を出し、昭和二十年八月十五日の昭和天皇のご聖断に依り、我が国有史以来の敗戦となりました。

以降連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)、マッカーサー元帥による六年八月月にわたる国際法を無視した占領政策(米国の日本弱体化政策)が実施され、日本古来の伝統的精神文化もずたずたにされました。

その一つに行われた極東国際軍事裁判(東京裁判)も、国際法を無視して戦勝国が敗戦国(日本)を裁いたものであり、「平和に対する罪」「人道に対する罪」として戦争中に法的に存在しない罪で、裁かれました。これは「事後法」として後から制定された法であり、本来その法が制定される以前の行為を罪にする事は出来ないのであります。

当時この裁判を否定していた判事(インドのパール判事)もおられましたが多勢に無勢で判決が下り、日本の多くの軍人政治家等がA級、C級戦犯となられました。やがて独立後と野党一致の国会決議によって、全ての戦犯者が名誉を回復され、A級戦犯の方も釈放されました。政治家として復帰し戦後日本の立て直しの為に活躍し、又、死刑になられた受刑者等も法務死として靖国神社に祀られています。

このマッカーサー元帥も朝鮮(韓半島)動乱後、司令官の任を解かれ帰国し、米国の議会で「日本は自存自衛の為に戦った」と報告していますが、日本のマスコミはそのことを報告しておりません。

ようやく最近になってH・S・ストーク氏(英国人で在日外国人特派員の最古参の欧米ジャーナリスト)が「東京裁判史観は間違っている」とあり、「日本の大東亜戦争の目的はアジアの植民地の解放戦争であった」と正当に評価して、日本は東京

裁判の再審を行うべきと問題提起し世界に発信されているのです。

更に百人斬りのあった南京大虐殺の嘘、それにいわゆる従軍慰安婦の強制連行や性的奴隷に関する多く資料により反論されていることを、ある誌上記事で知りました。

東京裁判以降、我々日本人は大東亜戦争を太平洋戦争と名まで替えさせられ、アジアの解放どころか逆に侵略戦争をしたことになってしまっているのです。

敗戦国として当時は仕方無かったにせよ、いまだ東京裁判史観と云う自虐史観にすりかえ洗脳され当たり前のようになっておりますが、終戦七十年、そろそろその呪縛から脱却しなければなりません。

又今日の日本経済の驚異的な復興と繁栄は、祖国の為に尊い命を犠牲にされた多くの英霊等の上に成りたつていことに感謝をしなくてはなりません。

残された家族のことを思い、祖国日本の将来に期待して散華された諸英霊等の御霊が浮かばれますよう、感謝と尊崇の念をもってその恩に報いる為にも、正しい歴史観のもと真実を知り、将に歴史認識を新たに、祖国日本に誇りと自信をもって国際的にも貢献していくべき時機が到来していると思っております。

このように書き綴りますと、右だ、右翼だと片付けられてしまう風潮にありますが、戦後の自虐史観に依って毒され振り子の針が随分と左側に片寄ってしまったている世相からして、真つ当な国に針を真ん中に戻すには、どうしても右方向へ向かわねばなりません。

諸悪の根源、東京裁判史観の呪縛を早く払拭したいものであります。(平成27・3・30記)

大祭期間中の3日より5日まで表参道にて「大宮八幡植木市」が開催されます。参道には、新緑の苗木や色鮮やかな花々、園芸用品などを求めて多くの参拝者が訪れます。植木市の他、露店も多く並びます。

## 大宮八幡 植木市



## 第37回稚児行列巡行

3日午後1時半より第一日ノ儀こどもの祭り(稚児健康祈願祭)を斎行。社殿前での記念撮影の後、吹奏楽を先頭に猿田彦、陣羽織姿の役員総代、りんどう会役員の供奉に続いてお稚児さんたち、ボーイスカウト・ガールスカウト、飛び入り参加自由の太鼓山車奉曳の子供たち、総勢400人を超え行列が神門を出発し、周辺の1.3キロを練り歩きます。お稚児さんは神々の依代として奉仕することにより、健やかに成長されると言われています。





### 昭和祭齋行

4月29日(昭和の日)、午前10時より昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げる昭和祭齋行が斎行されます。昭和の日制定に伴い、平成19年から奉仕さるれ今回で9度目を迎えます。宮司以下祭員奉仕により、中祭式にて厳粛に行われます。



### 若葉inおのみや

4日第二日ノ儀齋行の後、神楽殿において第15回「若葉inおのみや」が開催されます。今年のは尺八と琴の演奏です。毎年多くの方々にお楽しみいただき好評を博しております。ご自由にご陪観いただけます。なお、お誘い合わせの上お越し下さい。



### 第16回裏千家献茶式

5月16日午前10時より第16回「裏千家献茶式」が茶道裏千家今日庵(宮司御礼挨拶)



雲斎千玄室(先代15代お家元)のご奉仕で行われます。宮司の祝詞奏上に続き、大宗匠のお手前により濃茶と薄茶が厳かにご神前に献じられます。また境内では早朝より奉賛添茶会も開催され、本年は淡交会東京第6東支部の担当主催で行われます。大宮幼稚園では、幼稚園茶席も開かれ園児等が日頃のお稽古の成果を披露し、緊張しつつも可愛いお作法でお手前が披露されます。また、先2月に鬼籍に入られました、塩月弥栄子先生には毎月お元氣なお姿でお出まじりをお願いしております。

### 鎌田宮司 神職身分特級に

神社本庁設立記念日の2月3日にあわせて、神社本庁定例表彰の発表があり、表彰規程「第二条第一号」により当宮鎌田宮司が表彰されることとなり、先ず2月5日に神社本庁において特級の神職身分証書が授与されました。この日、宮司は明治神宮に参拝後、当宮に奉告参拝を致しました。尚、表彰式は5月20日に行われます。



『この度図らずも神社本庁より神職身分特級の栄に浴しましたことは身に余る光栄であり、誠に恐懼感激の極みでございます。しかし乍ら自らを省みて永年にわたり只管神明奉仕に専念させて頂き、ただ馬鹿を重ねたに過ぎず、内心忸怩たる思いも致しますが、大神様のご神慮は』

### 第2回フォトコンテスト作品募集

締め切りせまる

大宮八幡宮は都心の中にありながら広大な境内を有し、周囲を豊かな自然に囲まれ、四季折々に様々な花が咲き誇り木々が生い茂り、参拝者の目を楽しませております。そんな当宮の自然や行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂き、今秋の大宮八幡祭り(秋の大祭)期間中に展示します。ご参拝の皆様楽しんで頂きたく、昨年に引き続きフォトコンテストを開催致しますので、皆様奮ってご参加頂きますようご案内申し上げます。

### 応募期間

平成26年5月1日から  
平成27年6月30日まで



第1回 作品展

### 協力写真店

ホッタカメラ本店(浜田山)  
フォトグラフ三光堂(大宮八幡宮入口)  
パレットプラザ永福町店(永福町)  
カメラハウス本店(久我山)  
ストックワーク(中野)

◆応募票に必要事項を記入して、右記協力写真店に持ち込むと、参加作品に限りプリント代20%オフの特典があります。  
※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用権は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させて頂きます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させて頂きます。)

### 御鎮座九百五十年記念事業第一期事業 弓道場振武殿改修工事始まる

御鎮座九百五十年式年記念事業の第一期事業の完結としての当宮弓道場振武殿の増築改修工事がいよいよ始まりました。振武殿は昭和15年に建てられ、神域に存在する弓道場として、都内でも有数の道場で、小笠原流大宮支教場でもあり、振武会が中心となつて春秋の大祭時には奉納射会が行われています。



### 御鎮座九百五十年記念事業 記念事業の主な概要

- ◇第一期事業
    - 一 御社殿北側バリアフリー化整備
    - 一 スロープ設置工事
    - 一 外拝殿南北西階段バリアフリー整備
    - 一 擬宝珠付高欄(檜材)増設工事
    - 一 クネット手摺り設置工事
    - 一 銅板屋根掛工事(翼廊)
    - 一 御社殿内拝殿御帳・外拝殿及び神門門帳の新調
    - 一 表参道大幡ポール(二対)設置工事
    - 一 南参道鳥居扁額の補修工事
    - 一 弓道場振武殿改修工事
    - 一 結婚式場清涼階段バリアフリー整備
    - 一 階段クネット手摺り設置工事
    - 一 結婚式場清涼殿「亀の間」改修工事
    - 一 結婚式場清涼殿ロビー・階段カーペット張替工事
    - 一 祭典費・記念品費・事務費等諸経費
  - ◇第二期事業
    - 一 結婚式場清涼殿バリアフリー整備
    - 一 エレベーター設置工事
    - 一 トイレ改修等バリアフリー付帯工事
- 合計五、四〇〇万円  
総事業費 一億五、三〇〇万円

※各事業は、既に完了した事業です。

### 御鎮座九百五十年式年 奉賛者芳名簿(その8)

平成26年12月10日(平成27年3月31日) ※万円以上のみ掲出、敬称略、順不同

### 松ノ木地区

- 一金伍拾萬円 堀畑貴裕
- 一金伍拾萬円 (有)住宅ニユース社 取締役 田中昇
- 一金拾萬円 田川実佐
- 一金拾萬円 提督アイ
- 一金拾萬円 近藤敏栄
- (計七拾五萬円) 松元ふみ代 (計六萬円)

### 社務所扱

- 一金壹百萬円 村田浩樹
- (計七拾萬円) 竹田肇
- 一金拾萬円 竹田千佐子
- 一金拾萬円 竹田恵実
- (株)エゴジ(株) 花村克美
- 遠藤誉英
- 遠藤有佐
- 大西藤江
- 新井泉太郎
- 石原浩樹
- 岡崎曠敬
- (株)ワイケイ興業 早船田里子 (計三萬円)

### ご奉賛金の勸募

一口(二万円)以上お願い致します。尚、五口以上ご奉賛の方々には記念の石碑にお名前を刻し永久に保存させていただきます。また、一口以上ご奉賛の方々には芳名板(板札)にて受付後、随時お名前を掲出させて頂きます。

### 苗木授与と献木のごお願い

5月4日(みどりの日)午後2時より当宮みどりの会主催の植樹祭が斎行されます。祭典後各家庭にも緑を拡げる運動の一翼として植樹祭ご参列の方々先着200名様に苗木が授与されます。またご社頭では、皆様方より献木のご協賛を承っております。献木初穂料 一口 二、〇〇〇円 ※年間を通じて承っております。

### 献燈提灯奉納のご案内

わかば祭りの期間中多くの参拝者をお迎えするに当たり、皆様方のお名前(ご社名)を入れた献燈提灯を掲出させて頂き、ご社頭を賑々しくお飾りさせて頂きたく存じております。つきましては、左記によりご献燈を賜りたく宜しくお願ひ申し上げます。

掲出期間 4月29日から5月17日まで  
初穂料 一燈一〇、〇〇〇円  
申込締切 4月20日(郵送は19日必着)  
※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。





# 杜の話題

## 初春の表情

平成27年乙未の年明けは、元旦の午前零時、宮司の打つ一番太鼓が境内に響きわたり神門が開門。新年を迎え思いも新たにした参拝者で境内があふれる中、観世流能楽師野村四郎氏により神能「翁」が奉納され、続けて厄除開運大祈願祭(一番祈禱)が斎行されました。午前3時、宮司奉仕により多摩清水社にて若水が汲まれご神前にお供えされました。午前8時には、宮司以下祭員により歳日祭を斎行。午前には立正俊成会川端健之理事長を始め同会幹部の方々による新春参拝が行われました。



2日は、小笠原宗家による新春除魔神事「曇目(ひきめ)の儀・大的式」が奉納されました。3日には皇位の大元を寿ぐ元始祭が斎行されました。



## どんど焼き神事

1月15日、小正月の恒例の行事であるどんど焼き神事(古神矢・古神札等焼納祭)が行われました。まず、ご社殿において月次祭並古神矢・古神札焼納奉告祭のあと雨脚も衰えない境内の斎場で古神矢・古神札焼納祭を斎行、祝詞奏上のもと火籠神事により浄火が熾され神職・参列員らが大祓詞を奏上する中、古神矢・古神札が焚き上げられ、感謝と除災を祈りました。



## 文化財防火デー消防訓練

1月26日は文化財防火デー。昭和24年1月26日奈良・法隆寺の金堂より出火、国宝の十二面壁画を焼失しました。この事件を教訓として文化財を火災から守るためこの日が文化財防火デーに制定されました。当宮では、午前10時半社殿より出火との想定で訓練を実施。通



## 伊勢参宮旅行

恒例の伊勢参宮旅行が1月27日より2泊3日の旅程にて行われました。今回の参宮旅行には20名が参加。東京駅に集合し、新幹線で名古屋へ、バスに乗り換えて伊勢神宮外宮に向かい御垣内参拝後、神宮会館にて昼食をとりました。その後は内宮を御垣内参拝、御神楽を奉納しました。おかげ横丁を散策後、鳥羽に宿泊。2日目は、フェリーにて伊勢湾を渡り豊橋市内より、砥鹿神社を正式参拝し、蒲郡温泉にて旅の疲れを癒やしました。最終日は名古屋市内に向かい熱田神宮を正式参拝。名物ひつまぶしの昼食後、徳川美術館を見学して新幹線にて帰途につきました。



## 初天神祭

1月25日、大宮天満宮の初天神祭が斎行されました。年初の天神祭は丁度受験のシーズンでもあり、受験生をもつ親御さんたち12組が合格祈願をされました。



## 節分祭

2月3日は節分と言われ、この日に今年一年の邪気を祓う神事が行われます。当宮では、午前10時より節分祭を斎行。祝詞奏上のもと桃の弓・葦の矢で「天・地・人」の魔を射る除魔神事を奉仕。次いで社殿向拝の大前にて豆撒き神事が行われました。先ずかわい鬼に扮した当宮園児たちが行い、次いで一般参列者を対象に豆撒きを奉仕。2回にわたって行われました。



## 紀元祭並榎原神宮遙拝

2月11日は、神武天皇様が初代天皇として榎原の宮に即位され、わが国が建国された記念の日です。午前10時、先ず社殿にて紀元祭を斎行。次いで清涼殿の特設齋場にて榎原神宮を遙拝。「紀元節」を声高らかに斉唱し、聖寿萬歳を三唱。皇紀2675年前のその上をお祝いしました。



## 大宮稲荷神社、初午祭

今年の初午は2月11日、紀元祭の日と同じになりました。境内大宮稲荷社では、新たになった深紅の奉納初午幟りがはためく中、同日午後宮司以下祭員により初午祭が斎行されました。

## 新春社頭往来

- 1月1日 観世流能楽師 野村四郎氏  
立正俊成会理事長 川端健之氏  
学習院女子大学教授 他幹部の方々6名 江口泰広氏
- 1月2日 弓馬術礼法小笠原教場 三十一世 小笠原清忠氏  
明治神宮権宮司 男成洋三氏  
(明治神宮崇敬会理事長) 風祭竜二氏  
切画家 風祭竜二氏
- 1月5日 東京都神社庁長 松山文彦氏  
東京大神宮宮司
- 1月7日 公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会(BIA)  
会長 勝俣 伸氏  
事務理事 野田兼義氏
- 1月8日 学校法人高千穂学園理事長 藤井 耐氏
- 1月9日 大國魂神社宮司 猿渡昌盛氏  
杉並税務署長 伴 忠彦氏  
衆議院議員 石原伸晃氏  
里紗様
- 1月20日 田村神社宮司 田村英次氏
- 1月21日 竹駒神社宮司 千葉博男氏
- 1月25日 志野流家元 蜂谷宗玄氏

## 東日本大震災復興祈願

「私どもは3・11を忘れません」未曾有の大災害をもたらした東日本大震災から4年を迎えました。原発事故の問題を含めて、復興はまだまだ道半ばです。3月11日当日、朝の日供祭では、犠牲者への慰霊と復興祈願の祝詞を奏上し、職員・一般崇敬者と共に大祓詞3巻を奉唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分には、ご参拝の約60名の皆様と共に社殿前に向かい、1分間の黙祷を捧げました。3月15日には、東日本大震災復興祈願祭を月次祭と併せて斎行し、一日も早い被災地の復興を祈りました。



## 宗教者懇話会街頭募金活動

3月18日、JR阿佐ヶ谷駅にて、杉並区宗教者懇話会(代表幹事鎌田宮司)主催「杉並区後援による「3・11東日本大震災支援活動」として募金活動が行われました。杉並区宗教者懇話会では、神道・仏教・キリスト教・新宗教等区内の諸宗教者43名の奉仕活動により、同駅3ヶ所の街頭で復興支援を呼びかけました。寄せられました義援金は4月14日に杉並区長に手渡し、同区と姉妹都市の福島県南相馬市に寄贈されました。



## 勸学祭・ランドセルお祓い式

3月28日と29日、小学校入学を祝いお子様の成長を祈念する「勸学祭・ランドセルお祓い式」が執り行われました。大きなランドセルを背負った新1年生生達が緊張した面持ちで参列しました。尚、フジテレビの情報番組「ノンストップ!」の取材を受け、3月30日に放送されました。



## 桜まつり開催

当宮境内より和田堀公園内(旧境内地)の善福寺川沿いには、数千本の桜があり一斉に開花して目を楽ませてくれます。この開花に合わせて「桜まつり」を開催。今年は、3月28日から4月5日にわたって開催されました。期間中の土・日曜日は午後8時まで開門して和田堀公園への往来も自由になりました。28日と4日の両日には神楽殿にて「夜桜の神遊び」を開催。神楽舞と雅楽がライトアップされた桜の中、奉奏されました。



## 戌の日早見表

(平成27年5月~9月)

9月	7日(月)	19日(土)
8月	2日(日)	14日(金)
7月	9日(木)	21日(火)
6月	3日(水)	15日(月)
5月	10日(日)	22日(金)
	27日(土)	26日(水)

は大安の日です



戌(いぬ)の日詣りは、子育八幡さまの当宮で安産祈願のご祈禱を！  
※戌の日以外でも随時受け付けております。  
ご祈願の方には安産腹帯(宮田帯)と共に、へその緒を結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようにお願いが込められた「母子緒守」と安産祈願絵巻を特別に授けておきます。



### 氏子青年会だより

#### 氏子青年の集い

2月21日、氏子青年の集い(新年会)が開催されました。当宮氏青会員の他高円寺氷川神社、馬橋稲荷神社の各氏青からもご参加いただき約60名が参集。先ず社殿にて正式参拝、次いで清涼殿にて式典。神宮遙拝、氏子青年の綱領が唱和され、井川会長挨拶、宮司挨拶に続いて田中杉並区長のご挨拶もいただき、和やかな内に集いが進みました。田中区長は、「杉並区は今少子高齢化、人口の減少が大きな課題となっている。その対策としては、地元の魅力を大いに引き出すような活動をしなければならぬ。地元若いの世代の人たちがお互いに力を合わせて地域の行事を盛り上げていく事では、大宮八幡宮氏子青年会の活動はまさに街の発展に直接つながるものとして、今後の活動に期待をおおいに寄せられるものである。」と述べられました。

#### 初の日帰り参拝旅行

3月8日、初の日帰り参拝旅行が開催されました。当日は井川会長以下22名が早朝集合して旅の安全を祈願して出発しました。バスは中央道、圏央道、東名道と進み静岡県三島に向かい、伊豆国二宮三嶋大社に正式参拝。その後は伊豆長岡に



進み、ホテル天坊にて伊豆の幸の昼食をいただき憩いのひと時となりました。沼津で干物など海産物のお土産を購入して高速道にて帰途につき夕刻無事に帰着しました。

#### りんどう会だより

#### 厄除けぜんざい奉仕

1月15日、どんど焼き神事に併せて「厄除けぜんざい」を奉仕。多くの参詣の方々に神火で焼いた福餅のぜんざいをお召し上がりいただきました。



#### 新年懇親会

2月19日、新年懇親会が開催されました。社殿での参拝の後、清涼殿にて49名の会員が集い、宮司、五本木・藤枝両責任役員とともに楽しいひとときを過ごし懇親を深めました。

#### 清掃奉仕

わかば祭りを迎えるにあたり、4月27日午前9時より御垣内清掃が行われました。会員自らの手葉が掃き清められました。同会では随時会員を募集しております。ご入会希望の方はお気軽に事務局(社務所)までお申し出下さい。

### 親子で野外体験会

3月15日、当宮スカウトの森にて「親子で野外体験会」が開催されました。参加者は約100名。ボーイスカウト杉並第13団のスカウトやスカウトリーダー等は参加者達とともにスカウト活動を楽しまました。



#### 大宮八幡宮が育成母体 BS・GSスカウト募集

小学1年生から各学年ごとにいつでも入団できます

### 十三参り祈願のご案内

古来より数えて13歳になった少女が盛装して氏神様やお寺に参拝し、お祓いを受ける行事です。13歳という年齢は自分の生まれ「えと(十二支)」が丁度一巡りして元の「えと(十二支)」に戻る年であることから、これまで健康やかに成長できたことへ感謝するとともに、これから知徳・福德・美声等を授かるためにご祈願致します。関西地方(特に京都)では七五三と共に大切な人生儀礼となっています。

### 大宮八幡の杜 春から夏へ

#### 水無月夏越の大祓

6月30日午後4時より恒例の夏越の大祓が神門前参道広場で斎行されます。大祓は、古来より国の祓いとして6月と12月の晦日に行われ、人々が知らぬ間に犯した罪や穢れを祓い清める神事です。



#### 大祓詞浄書(水無月書写会)

夏越しの大祓に併せて、りんどう会と共に大宮八幡塾「水無月書写会」(大祓詞書写会)が開催されます。今年も6月20日より28日までの9日間開催されます。約900字の「大祓詞」や約90字の「祓詞」(低学年用「ひらがな」もあります)を書写、奉納して大神様の



#### 平安の雅び第17回乞巧奠飾りと大宮八幡乞巧潜り神事

ご神徳をいただきます。期間中は午前9時半〜午後3時半まで茶室「神泉亭」にて随時受付しております。尚、浄書された大祓詞は大祓に引き続いて行われる奉納奉告祈願祭にて神前に納められます。

7月1日より15日の間、第17回「七夕乞巧奠飾り」を清涼殿ロビーにて展示します。技芸上達を願う乞巧奠は平安の世より宮中を中心として行われた行事です。



また神門前には梶の葉や五色の布を付けた平成の七夕「大宮八幡乞巧潜り」が設けられます。7日の午後6時には、「七夕の神遊び・技芸上達祈願祭」を奉仕、

#### 「乞巧守り」を奉製

7月1日(朔旦祭)より大宮天神こどもまつりの25日まで、今年も期間限定で「乞巧守り」を授与します。笹竹に梶の葉と紅白の七夕人形が付けられたお守りを学業や技芸の上達を祈願して特別に奉製されたものです。



#### 納涼大宮天神こどもまつり

恒例の夏の風物詩第15回「納涼大宮天神こどもまつり」が今年も天神様のご縁日7月25日と前日24日の2日間にわたり当宮境内社の大宮天満宮に於いて行われます。



又、当宮氏子青年会による模擬店(夜店)が2日間とも出店されます。毎年崇敬者の方々及び大宮幼稚園園児・近隣の小学生の皆様よりご奉納を頂いた多数の書画行燈に、24日夕刻より灯りが入れられ

#### 書画行燈の募集

納涼大宮天神こどもまつりに当たり「書・画」の作品を募集します。書や画は行燈に貼って灯を点し7月24日の夕刻より大宮天神祭に献灯して、ご社殿前に掲出されます。水彩画又は書を指定の用紙に必ず横長に使用して、ご奉納(応募)頂いております。(※用紙は社務所にあります。[無料])



### 春の大祭後の主な行事

御嶽様神社例祭	5月16日
第36回大宮つき展	5月下旬〜6月上旬
大祓詞書写会	6月20日〜28日
夏越の大祓・茅の輪くぐり	6月30日
第17回乞巧奠飾り	7月1日〜15日
大宮八幡乞巧潜り神事	7月1日〜15日
七夕の神遊び(技芸上達祈願祭)	7月7日
雅楽の夕べ(雅楽と神楽舞)	7月4日・11日
第15回納涼大宮天神祭(書画行燈掲出)	7月25日
第15回杜のびきinおみや(和太鼓演奏)	7月25日
多摩清水社例祭(水神祭)	8月1日
第32回戦没者慰霊祭	8月15日
第15回十五夜の神遊び	9月27日

#### お朔日参り 「月参り御幣守護」を授与

当宮では古くより朔日(1日)、15日に月参りをされる参拝者の方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受け頂くこと、毎月1日の朔旦祭に合わせお朔日参り「月参り御幣守護」授与の祈願を奉仕しております。



#### 毎月・お朔日参りを 致しましょう

毎月1日 朔旦祭  
毎月15日 月次祭  
毎月25日 大宮天満宮月次祭

(ご自宅で自由にご参列出来ます。)

#### 多摩清水社例祭

幻想的な雰囲気の中、学業成就を祈願する宵宮祭が午後5時より、25日大宮天神祭の祭典が午後5時半より斎行されます。祭典に続き、参列の子供たちにより「こどもあかり神輿」が元気に担がれます。

午後6時半より、外拜殿前で「杜のびきinおみや」(時間をはずした日の祭事)として和太鼓の奉納演奏が行われ、夕闇に轟きわたる和太鼓の音の世界をご陪観の方々にも感応頂いております。神門前では「子供のミニ花火の集い」も催され、大人からお子様まで納涼を兼ねお楽しみ頂けます。多くのご参詣をお待ち致しております。



#### 第32回戦没者慰霊祭

今年も終戦70年、当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者のご英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和をご祈念する、第32回「戦没者慰霊祭」が8月15日に斎行されます。





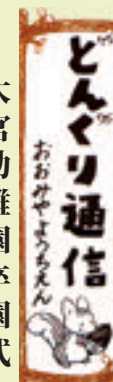
# 初宮詣芳名

(平成26年11月2日〜平成27年3月22日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します


- |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 熊澤結月  | 芝山千通  | 上野紗奈  | 重森涼太  | 吉野良   | 大西広樹  |
| 水川亜美  | 山本瑛介  | 宇佐美菜月 | 古家幹菜  | 神部瑞貴  | 仁禮はんな |
| 戸倉悠輝  | 堀江爽央  | 諸原千秋  | 松村花奈  | 鈴木心都  | 佐々浩太郎 |
| 木村菜奈  | 清水遊真  | 森咲良   | 吉岡元乃  | 小島あかり | 佐々木柚  |
| 瀨田朔   | 清水遊真  | 坂匠帆   | 瀧口麗衣  | 米谷颯真  | 中林航   |
| 満川湊元  | 阿部貫太郎 | 山科優   | 菅泉    | 森本千愛  | 岩佐英慶  |
| 田邊千鶴  | 本間円花  | 島井優   | 尾澤晴斗  | 三井まどか | 後藤琉那  |
| 春田彩里  | 大高陽翔  | 尾澤晴斗  | 尾澤晴斗  | 武藤咲花  | 小澤あかり |
| 小川陽   | 小宮山杏  | 山崎愛莉  | 古田亮太郎 | 富岡渾久  | 横山綺寧  |
| 中里衣織  | 青山紗織  | 谷口奏輔  | 片岡旬   | 風間純斗  | 海賀奏奈  |
| 前田直仁  | 甲斐伊織  | 猿楽結奈  | 浦優真   | 玉代勢秀虎 | 辻陽鞠   |
| 高木このは | 小菅玲恵  | 榎引敢菜  | 川満花   | 望月駿太  | 坂口莉玖斗 |
| 北林愛梨  | 小菅智恵  | 佐野たま希 | 立花飛鳥  | 三輪佳央  | 久保田瑠莉 |
| 中村優杏  | 根岸美遥  | 藤原あやな | 相澤唯月  | 星杏奈   | 磯貝委撫  |
| 安藤新太  | 佐々木董  | 渡辺桃花  | 吉開つむぎ | 荒嶽颯汰  | 河村惟希  |
| 片平花   | 田中寧乙  | 丸川翔   | 吉森道洋  | 中山祥花  | 千葉美月  |
| 小椋蓮   | 田所紗奈  | 今村心咲  | 月野みな水 | 嶋山香花  | 赤井琥珀  |
| 柳田珠音  | 吉田昊平  | 平石權   | 庄司壘   | 梅田忠克  | 杉本莉心  |
| 大野実愛  | 薄田奏   | 野口伶   | 近藤文   | 久保花   | 佐藤俊太郎 |
| 中村美杜  | 吉田昊平  | 野口伶   | 金子暖和  | 小江杏奈  | 松井至   |
| 小巻佑輔  | 定池暖   | 篠原瑛太  | 紫村光結  | 後藤諒椋  | 今村向太郎 |
| 猪瀬爽太  | 石井瑛登  | 齋藤真映  | 榑本珠莉  | 柳下奏也  | 小倉彩友美 |
| 高桑愛々子 | 清水彩衣  | 荒谷美伶  | 原田瑛子  | 佐藤椰来  | 飯塚ななみ |
| 末岡優梅里 | 清水悠   | 新井佑弥  | 渡部琉海  | 小倉総一郎 | 鈴木貴裕  |
| 奥村瑠月  | 大見友彩  | 北條葵   | 山梨晴   | 貴島暉暉  | 矢那瀬碧  |
| 寒竹聡太  | 津島圭之介 | 石川蒼   | 今村碧彩  | 佐藤祐樹  | 小田川亜規 |
| 織田瑛慈  | 菊地倫太郎 | 矢引結人  | 大滝るい  | 森駿太   | 和田悠花  |
| 二宮愛菜  | 竹下琴葉  | 富澤湊斗  | 尾上優斗  | 堀田日々希 | 津村天虎  |
| 竹下杏俐  | 春野瑞葵  | 池亀諒真  | 山田祐莉  | 福重隆成  | 和悠花   |
| 生野陽大  | 池亀諒真  | 山田祐莉  | 福重隆成  | 江釣子溪也 | 梅津蒼士  |
| 秋山礼奈  | 瀧田文音  | 西田旺生  | 石黒瑛麻  | 成瀬健之介 | 高橋優月  |
| 三枝久瑠美 | 三枝久瑠美 | 成瀬健之介 | 山本楓   | 宮林夏鈴  | 長谷川嵩  |
| 榎本涼音  | 益子花奈佳 | 大村侑士  | 宮本知輝  | 長谷川嵩  |       |
| 渡邊優悟  | 奈良井駿  | 押田咲良  | 上野朱莉  | 立松怜士  | 細野隼生  |
| 小柳瑠万  | 吉田悠人  | 佐々木結姫 | 谷口和泰  | 加藤小夏  | 中平權斗  |
| 大原柚希  | 高橋椋花  | 鎌田幸花  | 中本結人  | 中西優真  | 島田椰   |
| 宗内穂高  | 嶋野倫仁  | 古城紗由莉 | 原口壮太  | 佐藤凜和  | 尾基悠介  |
| 芥川廉   | 佐藤ひなた | 峯野蘭   | 池田愛菜  | 水兼麦   | 奥平いつき |
| 中山菖月  | 中野佑哉  | 池田衣紗  | 奥平いつき | 箕輪颯星  | 林優希   |
| 水兼麦   | 近藤心晴  | 早瀬快   | 山本沙菜子 | 新垣実和  | 緒方麻乃  |
| 奥平いつき | 早瀬快   | 山本沙菜子 | 新垣実和  | 緒方麻乃  | 鈴木文大  |
| 箕輪颯星  | 山本沙菜子 | 新垣実和  | 緒方麻乃  | 鈴木文大  | 太田陸翔  |
| 林優希   | 山本沙菜子 | 新垣実和  | 緒方麻乃  | 鈴木文大  | 太田陸翔  |
| 新垣実和  | 山本沙菜子 | 新垣実和  | 緒方麻乃  | 鈴木文大  | 太田陸翔  |
| 緒方麻乃  | 山本沙菜子 | 新垣実和  | 緒方麻乃  | 鈴木文大  | 太田陸翔  |
| 鈴木文大  | 山本沙菜子 | 新垣実和  | 緒方麻乃  | 鈴木文大  | 太田陸翔  |
| 太田陸翔  | 山本沙菜子 | 新垣実和  | 緒方麻乃  | 鈴木文大  | 太田陸翔  |
| 岩本瑠翔  | 長田宗高  | 本村仁平  | 伍賀彩華  | 飯田蓮   | 武田寛登  |
| 大島悠士朗 | 長田宗高  | 本村仁平  | 伍賀彩華  | 飯田蓮   | 武田寛登  |
| 遠藤舞心  | 飯田蓮   | 武田寛登  | 丸山喜月  | 丸山喜月  | 丸山喜月  |
| 丸山喜月  | 飯田蓮   | 武田寛登  | 丸山喜月  | 丸山喜月  | 丸山喜月  |
| 武田寛登  | 飯田蓮   | 武田寛登  | 丸山喜月  | 丸山喜月  | 丸山喜月  |
| 志賀幹太  | 萩野雄喜  | 高田志緒里 | 舞島維   | 山下恵石  | 加藤希歩  |
| 中村まり江 | 萩野雄喜  | 高田志緒里 | 舞島維   | 山下恵石  | 加藤希歩  |
| 欽本怜依  | 高田志緒里 | 舞島維   | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   |
| 山口里玖  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 鄭美羽子  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 荒井暹斗  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 兼子世吏  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 牛島紗良  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 大井和花  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 加藤航大  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 布田時朗  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 小山雄大  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 田中菜紘  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 曾我部和奏 | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 渡邊志映  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 小暮乃愛  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 杉本暁斗  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 高森亮   | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 黒田さくら | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 稲田悠己  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 飯野唯   | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 加藤葵   | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 清水琉宇  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |
| 田中大輝  | 山下恵石  | 加藤希歩  | 貫慶将   | 田康佑   | 郡司音彩  |

- |      |      |      |      |         |      |      |      |      |      |    |      |      |      |      |      |      |       |     |     |     |      |     |      |       |       |     |     |      |      |      |      |      |     |      |     |      |       |     |     |       |      |      |      |      |       |      |     |      |      |       |      |      |       |      |      |       |      |      |      |      |      |       |      |      |     |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |       |      |     |      |      |       |      |       |     |     |       |      |      |      |      |       |      |      |       |       |      |     |      |      |       |      |      |     |      |       |      |      |      |       |       |      |      |      |      |      |       |     |       |       |       |      |      |       |       |      |      |       |      |     |       |       |      |      |      |       |      |      |       |      |       |     |      |      |      |      |      |      |      |       |      |      |       |      |      |      |     |       |      |      |      |      |      |     |      |       |      |       |      |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |     |      |     |     |      |      |      |      |      |      |       |      |       |      |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |     |      |     |     |      |      |      |      |
|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|----|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-----|-----|------|-----|------|-------|-------|-----|-----|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|-------|-----|-----|-------|------|------|------|------|-------|------|-----|------|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|-------|------|-----|------|------|-------|------|-------|-----|-----|-------|------|------|------|------|-------|------|------|-------|-------|------|-----|------|------|-------|------|------|-----|------|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|------|-------|------|-----|-------|-------|------|------|------|-------|------|------|-------|------|-------|-----|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|-----|-------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|------|-------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|------|------|------|
| 岩本志雄 | 川合惺奈 | 林田眞奈 | 内村仁秋 | モルメネオ瑠那 | 重森涼太 | 古家幹菜 | 松村花奈 | 吉岡元乃 | 瀧口麗衣 | 菅泉 | 小田島奏 | 関口沙和 | 国本万奈 | 児矢野望 | 中畑蒼人 | 織原悠菜 | 古田亮太郎 | 片岡旬 | 浦優真 | 川満花 | 立花飛鳥 | 秦慧人 | 相澤唯月 | 吉開つむぎ | 月野みな水 | 庄司壘 | 近藤文 | 金子暖和 | 紫村光結 | 榑本珠莉 | 原田瑛子 | 渡部琉海 | 山梨晴 | 今村碧彩 | 森駿太 | 大滝るい | 堀田日々希 | 藤澤咲 | 金子仁 | 鈴木ひかり | 宮崎皆成 | 小出真由 | 中野晴音 | 小野真叶 | 大野あずさ | 鍛地悠花 | 吉野良 | 神部瑞貴 | 鈴木心都 | 小島あかり | 米谷颯真 | 森本千愛 | 三井まどか | 武藤咲花 | 富岡渾久 | 森田凌士朗 | 山崎諒司 | 前田衣緒 | 落合詩織 | 落合詩織 | 風間純斗 | 玉代勢秀虎 | 望月駿太 | 三輪佳央 | 星杏奈 | 荒嶽颯汰 | 嶋山香花 | 中山祥花 | 梅田忠克 | 豊岡颯斗 | 久保花 | 小江杏奈 | 後藤諒椋 | 柳下奏也 | 佐藤椰来 | 小倉総一郎 | 貴島暉暉 | 山梨晴 | 今村碧彩 | 佐藤祐樹 | 土田陽奈月 | 大滝るい | 堀田日々希 | 藤澤咲 | 金子仁 | 鈴木ひかり | 宮崎皆成 | 小出真由 | 中野晴音 | 小野真叶 | 大野あずさ | 鍛地悠花 | 大西広樹 | 仁禮はんな | 佐々浩太郎 | 佐々木柚 | 中林航 | 岩佐英慶 | 後藤琉那 | 小澤あかり | 横山綺寧 | 海賀奏奈 | 辻陽鞠 | 西村楓人 | 川岸由以佳 | 登垂梨沙 | 宮下晴統 | 前川陽風 | 坂口莉玖斗 | 久保田瑠莉 | 磯貝委撫 | 河村惟希 | 千葉美月 | 赤井琥珀 | 杉本莉心 | 佐藤俊太郎 | 松井至 | 今村向太郎 | 小倉彩友美 | 飯塚ななみ | 鈴木貴裕 | 矢那瀬碧 | 佐藤実緒子 | 小田川亜規 | 和田悠花 | 津村天虎 | 小岩井結人 | 柏木結衣 | 細川奈 | 金子伊早那 | 二丁日光璃 | 金谷優希 | 加藤浩輝 | 三橋優香 | 谷田貝紘人 | 矢野立馬 | 久保綾子 | 宇賀野達己 | 小倉大輝 | 高橋茉莉子 | 金本菜 | 吉村樹子 | 坂本真帆 | 杉山璃子 | 池田拓人 | 小林奏太 | 小林祐貴 | 小真実梨 | 山本さくら | 日比生大 | 安野柊成 | 辻田優美香 | 重松直希 | 西浦寛郎 | 石橋一真 | 新井桃 | 安永都和乃 | 前村礼人 | 石田奎介 | 石川大岷 | 石川大岷 | 濱本咲羽 | 辻花怜 | 丸山暖人 | 江川まどか | 吉野咲希 | 庄司実紗希 | 福井宗介 | 山本紗代 | 大石城丈 | 濱崎篤 | 上田暖太 | 近藤桂太 | 小池幸成 | 鈴木竣介 | 和泉多生 | 内山心咲 | 横野実咲 | 黒木幹晴 | 星谷勇陽 | 村井英登 | 山城小陽 | 岡山春花 | 上村始 | 石田奎介 | 山本葵 | 石井優風 | 望月縁 | 菅原終 | 吉橋正智 | 石本志帆 | 石川怜旺 | 濱本咲羽 | 梶田麻悠 | 丸山暖人 | 江川まどか | 吉野咲希 | 庄司実紗希 | 福井宗介 | 山本紗代 | 大石城丈 | 濱崎篤 | 上田暖太 | 近藤桂太 | 小池幸成 | 鈴木竣介 | 和泉多生 | 内山心咲 | 横野実咲 | 黒木幹晴 | 星谷勇陽 | 村井英登 | 山城小陽 | 岡山春花 | 上村始 | 石田奎介 | 山本葵 | 石井優風 | 望月縁 | 菅原終 | 吉橋正智 | 石本志帆 | 石川怜旺 | 濱本咲羽 |
|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|----|------|------|------|------|------|------|-------|-----|-----|-----|------|-----|------|-------|-------|-----|-----|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|-------|-----|-----|-------|------|------|------|------|-------|------|-----|------|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|-------|------|-----|------|------|-------|------|-------|-----|-----|-------|------|------|------|------|-------|------|------|-------|-------|------|-----|------|------|-------|------|------|-----|------|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|-------|-----|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|------|-------|------|-----|-------|-------|------|------|------|-------|------|------|-------|------|-------|-----|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|-----|-------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|------|-------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|------|------|------|



とんぐり通信  
おかげさようちえん

### 大宮幼稚園卒園式



天気予報では雨でしたのでお天気が心配されましたが式の間はあまり降らず、3月19日、大宮幼稚園では第65回卒園式を無事に行うことが出来ました。この日を迎えるまでに式で朗読した宮澤賢治の「雨ニモマケズ」は12月頃より少しずつ練習をはじめ、長い詩ですが早い段階で覚えることができました。


普段の保育で言葉遊びという時間があり、この中でも漢字混じりの本や漢詩、俳句などを毎日読んでいると文字を覚え、子どもたちだけでもスムーズに読めるようになります。日頃の保育の中でも子どもたちの暗記力は素晴らしいと感じますが、卒園式でのお別れの言葉や詩、歌とみんなよく覚えてくれました。

そして、107名の子どもたちが1人ずつ園長先生から卒園証書をいただき「ありがとうございます。」と大きな声で挨拶している姿を見て、大宮で育った3年間の中でどのお友だちも本当に立派に成長したと改めて感じる事が出来ました。たくさんの経験をして得た思いやりの気持ち、頑張る気持ち、感謝の気持ちを忘れず、ここで培った様々な思いを小学校でも生かしてい

### 「幸福がえる守」のご案内

御鎮座九百五十年式年を祈念して、新たにお目見えした「幸福がえる守」。

天然石の「たまご」が中に入っており、これに願いを込めて、無事に孵化(成就)するよう祈念されたお守りです。願い札に願いを記入し、たまごと共に持ち下さい。無事に願いが叶いましたら、このたまごを清涼殿前の「撫でがえる石」に設置の「福和米箱」へお納め頂きます。



## 緑豊かな都心の杜。

### 感動の瞬間

初

宮

詣

衣装・美容着付・写真・初宮饗膳(ご会食)など承ります。

集

宴

会

03(3312)7515

### 結婚式挙式者芳名 (敬称略)

平成26年12月1日〜平成27年3月31日

貫井宏・美穂	小坂洋平・泰子
鈴木耕一郎・マールンシルビア	森畑明昌・真理子
	叙持完次・仁美

## 祝 七五三詣

### 七五三衣裳展示会7月7日より

毎日朝10時〜夕方5時まで開催

七歳 女児

五歳 男児

三歳 男・女児

平成 21 年生

平成 23 年生

平成 25 年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。満年齢でお受け頂いても差し支えございません。

### 大宮八幡祭り(秋の大祭) 祭典日程のお知らせ

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により斎行されます。

- \*例祭は9月15日(火)に斎行する
- \*神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭は9月18日(金)に斎行する
- \*宵宮祭は9月19日(土)に斎行する
- \*氏子奉幣祭、神輿合同宮入りは9月20日(日)に斎行する
- \*神輿神霊返し祭は9月21日(祝)に斎行する

てほしいと思います。

また日頃より「神様は目には見えなけれどいつも見守って下さっています。」という園長先生からの言葉も胸に、これからもたくさんのことを学び成長していつてほしいです。

教諭 赤尾 真麻



# わかば祭り(春の大祭) 5月3日~5日

## わかば祭り 第一日ノ儀 こどもの祭り (稚児健康祈願祭) [3日]

稚児行列に、吹奏楽・スカウト・猿田彦・役員総代・こども太鼓山車などの多くの供奉。



こどもの祭り (稚児健康祈願祭)



佼成学園吹奏楽部



猿田彦、役員・総代、りんどう会続く

## わかば祭り 第二日ノ儀 若葉 in おおみや(コンサート) 植樹祭 [4日]



奉式者の集い開催奉告祭



奉式者の集い



植樹祭

## わかば祭り 当日祭 (尚武祭) [5日]



宮司以下祭員ら参進



大宮幼稚園園児朝日子舞奉納



国家安泰・五穀豊穰・氏子の繁栄を祈る



古武道武技奉納 [3日]



佼成学園吹奏楽部奉納演奏 [3日]



杉並太鼓奉納演奏 [4日]

大 宮 第102号  
 平成27年 春の大祭号  
 平成27年5月1日発行  
**大宮八幡宮社務所**  
 〒168-8570  
 東京都杉並区大宮2-3-1  
 電 話 (3311)0105 FAX(3318)6100  
 Mail : info@ohmiya-hachimangu.or.jp



野点茶会 [5日]



雅太鼓奉納演奏 [5日]

大祭期間中 (3~5日)、境内では連日神賑行事が奉納されます。  
 参道には露店が多数立ち並び、大宮八幡 植木市・盆栽即売会も行われます。